



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

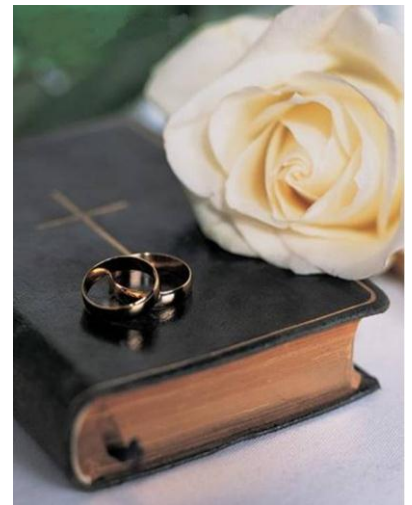
2012年4月-5月号
Vol.25

支援者の皆様へ

支援者の皆様へ

支援者の皆様こんにちは。温かい季節になってきました。お元気でお過ごしでしょうか？私は皆様のお祈り、ご支援に支えられ、慌ただしい中にも健康が支えられ、不十分な者でありながらも憐みによって日々の働きを続けています。皆様と共に労することの出来る特権を心より感謝しています。

私事ではありますが、5月12日には東京都練馬区の聖書キリスト教会で結婚式を挙げさせていただきます。相手の牧純子さんとは、2010年1月に初めて出会ってから、その年の夏から1年半の交際期間を経て、「生涯共に神様に仕えていきたい」という確信のもとに結婚へと導かれました。これまで皆様と共に担ってきた働きを、5月12日からはふたりで担っていきます。私生活の上で一緒に神を見上げるといふ土台づくりを先ずは優先したいと思っておりますので、「公式に」夫婦で教会やFVIの働きを担う、という形は少なくとも当面はとりませんが、支援者の皆様には、FVI、教会の働きと共に新しく誕生する「家族」のためにも変わらずにお祈り、ご助言をいただき、加えられる家族と子ども皆様と共に歩み喜びを共有できたら、この上ない祝福です。



活動報告

奉仕と活動 (2012年2月~3月)

皆様の祈りに支えられ次の場所で奉仕させていただきました。関係した方々に感謝いたします。

月日	内容	場所
1月31日~4日	FVI 東北ボランティアツアー	岩手、福島の各地
2月12日	ビジョン・カンファレンス	御影福音教会 (神戸市)
2月13~17日	教会巡回、個人の支援者との会合など	関西各地

2月25日	隣人を愛する習慣作りセミナー③	カンバーランド長老高座教会
3月3日	セミナー「地域に仕える教会」	SDA 亀甲山教会（横浜市）
3月5～7日	Global Learning Consortium 平和学習ツアー	広島県広島市
3月10日	J-Light にパネリストとして参加	宮城県仙台市
3月17日	Fukushima International Forum	福島県郡山市
3月18～20日	福島未来会議2	福島県 猪苗代
3月21日	国際神学シンポジウム 参加	聖学院大学（東京都北区）
3月25日	礼拝メッセージ	練馬グレースチャペル
継続的に	全人宣教フォローアップと励まし	練馬など国内各地
継続的に	F V I 事務局の働き	練馬、立川、吉祥寺など各地

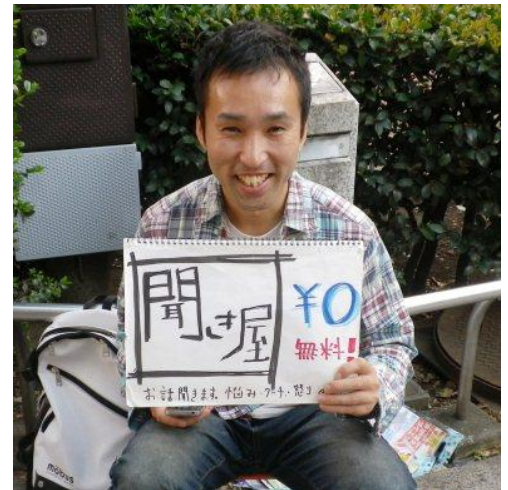
福島未来会議2

皆様のお祈りに支えられ、「福島の未来」のために貢献したいと願う 35 歳以下の若者の集い、「福島未来会議2」を祝福の内に終えることが出来ました。国内、世界各地から、50名の参加者が集まり、「神の国」について、福島について祈り語り合い、自分の残された人生を神に用いていただくということが、どういう意味なのかを神に聴く2泊3日でした。また、ウクライナからのゲスト講師、ボリス・グリシェンコ牧師は、1986年のチェルノブイリ原発事故以降、自らの身体に異変が起きたこと、その結果として信仰を持つようになったこと、「正しい情報を得ると同時に神以外の何も恐れない」というバランスのとれた信仰の姿勢を保つこと、教会が「恐れ」に支配された地域において憐みの奉仕をしていくうえで気を付けなければならない大切なこと、など、福島で支援活動を続けていくうえで非常に大切な教訓を私たちに語って下さいました。2泊3日で起きたすべてのことをこの紙面で語ることは非常に難しいのですが、福島県内からの参加者のひとは「(参加前は福島に希望を持てなかったが) 会議の最後に近づくにつれて、福島、と聴くと希望が湧いてくるようになりワクワクした」と言ってくれました。ここで生まれた「神からのビジョン」「人のつながり」が、長期的なインパクトをもたらすのはまだまだ先の話かもしれませんが、皆様の祈りと支えにより、確かに「心に蒔かれる種」が芽吹き始めたことを報告します。



松本玄太（岩手県在住 宣教師）

このレターで松本玄太氏（玄ちゃん）を紹介するのはこれが二回目です。前回紹介したのは約2年前です。玄ちゃんと私が最初に出会ったのは2008年の終わりごろでした。練馬グレースチャペルのメンバーであった同い年の玄ちゃんを、横田牧師が紹介してくれたのです。その後エチオピアから帰国し、私が東京に住み始めた当初から私に街のこと、教会のことを教えてくれたのは玄ちゃんでした。また彼は、同じ教会のメンバーであるだけでなく、映画に行ったり食事を共にしたりする友達でもありました。2009年の冬から、玄ちゃんと私は、江古田駅で聞き屋ボランティアをはじめました。現在「チーム江古田」として取り組んでいるボランティア活動の核に



なったのは彼でした。玄ちゃんは2009年から始まった私の「東京生活」の師匠のような存在であり、同世代のなんでも話せる友人のひとりとして、神様が与えてくださった東京での最高の出会いのひとつでした。

2007年にゴスペルを通して教会につながり洗礼を受けた彼は、練馬でのゴスペルクワイヤを通して、またチーム江古田を通して東京で神様の愛を伝えることに情熱を注いでいましたが、次第に「東京にはこれだけ多くの教会があり若いクリスチャンも多いが、故郷の広島島の田舎には、殆ど教会がない。また若い人たちが地域を盛り立てていく、という雰囲気欠けている。」という現実に対して、将来自らがそこで何かできないか、と考え始めました。「しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。」(ローマ書10:14)という聖書の言葉を通して神から語られた彼は、過疎化しつつある故郷にいつか自分が神の愛を携え帰り、教会を開拓し、地域を盛り立て、霊的にも社会的にも、全人的に神の国をもたらすことに貢献したい、と考えるようになりました。その目標のために練馬グレースチャペルの信徒神学校（CTC）で学びを始めた2年目に、あの東日本大震災が起きました。CTCの授業の一環として10度以上陸前高田市を訪問、ボランティア活動を行った彼は、自分が備えてきたその宣教の心と地域への思いは、この陸前高田市に注ぐために神が用意してくださっていたのかもしれない、と考えるようになり、CTC卒業と同時に陸前高田市に移住し、市民になり、宣教と地域の活性化のために生涯を捧げる決意をしました。

震災後、既に香港から陸前高田でのボランティアと宣教活動を始めている宣教師夫妻と共に、彼はチームでの教会開拓に取り組んでいきます。また、江古田での聞き屋の経験を生かし、陸前高田でも聞き屋の活動を展開し、被災地の方々の「心の瓦礫撤去」の働きをしていく予定です。岩手での彼の宣教活動については、彼が岩手で働き、生活していけるようになるまでの期間は、練馬グレースチャペルが中心となって支援していく予定です。私もささやかながらその支援の輪に加わらせていただこうと考えています。玄ちゃんの宣教活動の報告、支援方法については「松本玄太を支える会」（長尾充悦氏：beecho3244@mac.com）までお問い合わせください。神の国の働きに献身した松本玄太氏のために、私や練馬グレースチャペルのメンバーと共に、皆様にも祈りを共にしていただければ幸いです。



宣教チームと共に。写真中央が松本玄太氏

祈りの課題

- ◇5月12日の結婚式が、二人で捧げる礼拝の人生の、良き始まりの日になるように。
- ◇F V I の働きが今後も、神の心を地上に現す働きであり続けられるように。
- ◇福島未来会議2の参加者一人一人の人生を、神様が豊かに福島の祝福のために用いてくださるように。
- ◇私ますます、イエスと近く親しく歩むことが出来るように。

今後の予定

月日	内容	場所
4月23-24日	F V I 役員会	群馬県万座温泉ホテル
5月12日	結婚式	聖書キリスト教会（練馬区）
6月10日	ビジョン・カンファレンス	鎌倉雪ノ下教会
6月18-24日	DNAリトリート	アリゾナ（アメリカ）
8月12日	ビジョン・カンファレンス	伊那福音教会
10月8日	WFD登別大会	登別市（北海道）
随時継続的に	国内啓発活動およびフォローアップ	国内各地
随時継続的に	F V I 事務局の働き／神学の学び	練馬など各地

連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」
Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

- *ブログから Prayer Letter をダウンロードくださった方で、振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。振込用紙、ご案内を送らせていただきます。
- *2カ月に一度、プレーヤーレターに2枚（2か月分）お送りさせていただく振替口座の振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。
- *Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。